

静岡大学ピアノサークル代表の和田善尚です。

いつもお世話になっております。

私が”個人的に”このプロジェクトに込めた想いを以下に述べます。

かなり長いですが、よろしく願いいたします。

---

はじめまして、静岡大学ピアノサークル代表の和田善尚です。

静岡大学ピアノサークルでは 12/30 の 23:00 まで、浜松キャンパスの傷んだピアノをグランドピアノへ置き換えるために、クラウドファンディングを行っています。残り 10 日もない状況ですが、皆様のお力を賜りたいと考え、ご連絡させていただきます。

プロジェクトの詳細はこちらから！

↓↓

<https://readyfor.jp/projects/piano-culture>

浜松キャンパス・佐鳴会館に設置されているピアノは 1972 年に製造をされたもので、調律は行われているものの、その耐久性は限界に近づいています。卒業生からのお話を聞くと、10 年以上も前からピアノの耐久性が問題になったことはあるものの、大学側から根本的な解決が行われず、今に至ります。当団体も 2022 年から佐鳴のピアノの不調を訴えていましたが、大学側から根本的な解決は今でも行われていません。他にも、佐鳴以外に置かれているピアノの一つはピアノの弦が切れており、不調を訴えたにもかかわらず、その状態で放置をされ、今もひどい状態が続いています。浜松キャンパスに存在する 4 台全てのピアノを調査したわけではありませんが、少なくとも 2 台以上のピアノが音楽をするには難しい状態にあります。

大学からの根本的な解決アクションが期待できないということで、学生有志でのクラウドファンディングを実施するに至りました。

ピアノは「楽器の王様」と呼ばれるほど、音楽教育や音楽活動に適している楽器です。音楽大学の入試においても、ほとんどの場合はピアノが副科として必須です。一つの楽器で「リズム」「ハーモニー」「メロディ」の音楽の構成要素を奏でられる楽器は多くはありません。ひとりでも、みんなでも楽しめることができ、どんな音楽ジャンルに溶け込むことができる楽器はピアノしかないと思います。

しかし、ピアノの演奏を始めるまでの難易度は、大学生にとっては非常に高いです。金銭的なハードルも高いですし、そもそもの物理的な設置ハードルも高いです。特に、下宿生にとってグランドピアノを設置することは不可能であり、大学に無ければほとんどの場合触れる機会すらありません。つまり、どれだけピアノが音楽活動に適している楽器だとしても、ピアノが演奏できる環境が大学になれば、触れることすら難しいのです。

私は、ピアノの設置や修理を次世代に演奏活動をする学生の足枷にはしたくありません。本来大学が行うべき設備更新を学生が行うことは大変であり、マイナスなことで時間を使わせたくもありません。設置許可を取ることや、置き換えの話聞いてもらうことすら一苦勞です。このプ

プロジェクトも 2022 年の 12 月から調査が開始され、設置場所の選定や学校側へのピアノの設置許可を経て、今に至ります。

私はこのプロジェクトを「大学が設備更新をしないから我々がするもの」、つまりは否定的なものにしたくはありません。「静大生全員が使えるグランドピアノを設置して、みんなのさまざまな活動を支えるもの」、肯定的なものにしたいと考えています。今の状態でピアノが放置されているのが「使う人がいなくなったから、酷い状態で放置されていた」か「酷い状態で放置されていたから、使う人がなくなった」か、わかりません。しかし、全員で大切に使用していけば、大学側も適切に管理・維持をする意義が生まれます。そして、その状況が作り出せれば浜松キャンパスでもさらなる文化的な活動が展開されていきます。その一歩となる肯定的なプロジェクトにしたいと考えています。

静岡大学・浜松キャンパスに地元産業の象徴であるグランドピアノが設置されることは、課外活動や学生の活動を促進させるだけでなく、浜松市の文化的な活動を促進させることにつながると思います。

そのためには、クラウドファンディングで目標金額に到達することは必須条件であり、達成できなければ、このひどい状態のまま放置されてしまいます。

大変ありがたいことに、目標金額の 90%を超える 170 万円のご支援をいただいています。しかし、今回のクラウドファンディングの方式は目標金額である 190 万円に 1 円でも到達しなければ、全ての金額が皆様へ返金される方式になっています。浜松キャンパスの傷んだピアノをグランドピアノへ置き換えるために、どうか皆様のお力をお貸しください。

なお、目標金額を大きく超えた場合はピアノのグレードアップを一段階だけ考えています。現在獲得を目指しているピアノは最小サイズの、YAMAHA インドネシア工場生産のものであり、施設の広さを考えると少し音楽性が乏しいかもしれません。

一段階だけグレードをアップさせることで、YAMAHA の伝統的なグランドピアノの製法が守られた、Traditional シリーズという国産モデルにできます。

浜松市は日本のピアノ製造のルーツを持つ都市であり、YAMAHA（日本楽器）は日本ではじめてピアノを作った会社です。静岡大学・浜松キャンパスにふさわしく、日本のピアノ製造のメッカである浜松市へのリスペクトを込めた、意味を持つ国産モデルのグランドピアノをできれば納入したいです。

繰り返しにはなりますが、浜松キャンパスの傷んだピアノをグランドピアノへ置き換えるために、どうか皆様のお力をお貸しください。

12/30(月)に、銀行が閉まってしまいますので、ご支援・ご拡散は余裕を持っていただけると幸いです。

何卒、よろしく願いいたします。

---